

令和6年度 東京支部の収支（見込み）

令和6年度 都道府県支部別収支（国庫補助を除く）予算と決算の比較

※端数整理のため、計数が整合しない場合がある。

単位)百万円

		全支部計				東京支部			
		予算	決算	差	増減(%)	予算	決算	差	増減(%)
収入	保険料収入	10,252,319	10,648,967	396,648	3.9%	1,694,922	1,859,529	164,607	9.7%
	一般分（再掲）	10,250,887	10,647,587	396,700	3.9%	1,694,685	1,859,287	164,602	9.7%
	その他収入	17,111	33,879	16,768	98.0%	2,834	5,630	2,796	98.7%
	債権回収（再掲）	11,115	14,708	3,593	32.3%	1,841	2,275	434	23.6%
	計	10,269,430	10,682,846	413,416	4.0%	1,697,756	1,865,159	167,403	9.9%
支出	医療給付費（調整後）	5,534,877	5,679,966	145,089	2.6%	899,659	980,088	80,429	8.9%
	医療給付費	5,534,877	5,679,966	145,089	2.6%	761,325	832,785	71,460	9.4%
	年齢調整額	0	0	0	-	26,397	29,395	2,998	11.4%
	所得調整額	0	0	0	-	111,937	117,907	5,970	5.3%
	現金給付費等	523,117	543,002	19,885	3.8%	86,648	95,024	8,376	9.7%
	前期高齢者納付金等	3,513,950	3,497,060	▲ 16,890	-0.5%	582,043	611,979	29,936	5.1%
	業務経費	234,195	187,056	▲ 47,139	-20.1%	38,792	32,734	▲ 6,058	-15.6%
	一般管理費	83,558	63,275	▲ 20,283	-24.3%	13,840	11,073	▲ 2,767	-20.0%
	その他支出	71,475	53,909	▲ 17,566	-24.6%	11,839	9,434	▲ 2,405	-20.3%
	準備金積立て	308,257	0	0	-	51,059	0	0	-
	令和4年度の収支差の精算	0	0	0	-	12,199	12,199	0	0.0%
	令和4年度のインセンティブ	0	0	0	-	1,678	1,678	0	0.0%
	計	10,269,430	10,024,267	▲ 245,163	-2.4%	1,697,756	1,754,209	56,453	3.3%
収支差	計	0	658,579	658,579	-	0	110,950	110,950	-
	全国平均分	0	658,579	658,579	-	0	115,250	115,250	-
	地域差（令和8年度保険料率算定時に精算）	0	0	0	-	0	▲ 4,300	▲ 4,300	-

注1.「債権回収」は、資格喪失後受診に係る返納金、業務上傷病による受診に係る返納金、診療報酬返還金、損害賠償金に係る債権の回収額の実績を表す。

注2.「年齢調整額」、「所得調整額」のマイナスは調整額を受け取る支部、プラスは調整額を負担する支部。

注3. 医療給付費は、東日本大震災及び令和6年能登半島地震による窓口負担減免措置に伴う令和6年度の協会負担分に係る窓口負担減免額を含む。

注4.「令和4年度の収支差の精算」は、令和4年度の都道府県支部ごとの収支における収支差の精算（健康保険法施行規則第135条の7に基づき行うもの）を表す。

注5.「インセンティブ」は、令和4年度の都道府県支部ごとの取組実績に対する加減算額（健康保険法施行令第45条の2第1号ロ及びニ並びに健康保険法施行規則第135条の5の2に基づき行うもの）を表す。

注6. 国の年金特別会計に係る分が暫定値であるため、数値は今後変わりうる。

令和6年度 東京支部の収支（暫定版）

① 支部別収支差について

- ◆ 令和6年度の都道府県単位保険料率は、2年前（令和4年度）の医療費や総報酬額の実績をもとに、収支を見込んだうえで算定している。
- ◆ 支部別収支の収支差は、**医療費等が料率算定時の見込みからどの程度乖離したかを表したもの**となっており、**2年後の都道府県単位保険料率（令和8年度）の算定の際に精算**することとされている。

支部別収支の作成は、この**精算すべき額を算出**することを目的としている。

【参考】令和6年度の収支差について

令和6年度 見込み

令和4年度の都道府県別医療費の（実績）や総報酬額をもとに収支を見込んだもの

令和5年度の都道府県単位保険料率を算定する際に使用

令和6年度 実績

令和6年度の都道府県別医療費の（実績）や総報酬額の実績を用いて算出

見込と実績の乖離 = 収支差

令和 6 年度 東京支部の収支（暫定版）

② 東京支部の収支差について

（百万円）

	全国計		東京支部	
	令和 5 年度 決算	令和 6 年度 決算見込み	令和 5 年度 決算	令和 6 年度 決算見込み
収 入	10,321,146	10,682,846	1,769,383	1,865,159
支 出	9,854,904	10,024,267	1,687,416	1,754,209
収支差	466,243	① 658,579	81,967	② 110,950
全国平均分	466,243	658,579	79,975	③ 115,250 (①×総報酬按分率)
地域差分	—	—	1,992	④ ▲4,300 (②－③)

※端数整理のため、計数が整合しない場合がある。

【参考】収支差（全国平均分と地域差分）について

収支差	内容
全国平均分	・ 「①全支部計の収支差（剰余金）」を総報酬按分し、各支部に振り分けたもの
地域差分	・ 「②各支部の収支差」と「③全国平均分」との差 (令和 6 年度の実績が保険料率算定時の見込みから乖離した影響等) ⇒ ④ 令和 8 年度の都道府県単位保険料率の算定時に精算される

令和 6 年度 東京支部の収支（暫定版）

③ 支部別収支差の保険料率換算について

○ 令和 6 年度の総報酬額の実績に基づき、収支差（地域差分）を保険料率に換算したものは以下のとおり（参考値）。

支部別収支差 （地域差分）（a）	総報酬額 （令和 6 年度実績）（b）	保険料率換算 （a） / （b） × 100
▲4,300百万円	18,630,132百万円	約0.02%

【参考】令和 5 年度決算の収支差：1,991百万円（約0.01%の減算）

令和 8 年度保険料率算定時に、約0.02%が加算される（見込み）

注：令和 8 年度保険料率算定の際の精算に係る保険料率は、令和 6 年度の支部の収支差（地域差分）を令和 8 年度の総報酬額の見込額で除したものになる。
そのため、表中の保険料率換算（収支差（地域差分）を令和 6 年度の総報酬額の実績で除したもの）とは異なる。

【参考】収支差（地域差分）の精算及び保険料率への影響

支部別収支差 （地域差分）	料率算定時の見込みとの乖離	令和6年度の精算
マイナス	見込みと比べて医療費は多く使われた	マイナスをとったものを支出に加算（保険料率は上がる方向）
ゼロ	見込み通り	精算なし
プラス	見込みより医療費が使われなかった	収入に加算（保険料率が下がる方向）